

担当 委員会	項 目	担当委員会の対応方針等
	主な意見・要望の要旨	
社会委員会	2 浅間総合病院医師確保関連 浅間総合病院の現状は。(医師不足) 2,3年前から確かに医師不足。名前貸しみたいな病院経営をしているのでは。赤字について知っているのか。これを知らなければ議員定数は減らしてもあたりまえだ。 浅間総合病院の赤字の原因について、医業収益が大切。医師不足は。 佐久総合病院、佐久医療センターにも内科医はいる。佐久市が関与していければ、その医師を浅間総合病院に連れて来てほしいと思うが。	内科医師の不足の影響が医業収益に顕著に現れています。思ったように医師確保が進まない中、若手医師らを中心に「医師確保対策チーム」が発足し職員自らも取り組みを開始しています。医師数は、病院経営全体に大きく影響することから、医師確保を最重要課題として位置づけ、これまでに上記に取り組みを強化していくという事です。 佐久市では、佐久市医療体制等連絡懇話会を設置し、佐久総合病院再構築に係る事項や地域医療連携、医療の充実に関し必要な事項について協議を行っています。ご意見として承り申し伝えます。
	3 浅間総合病院経営関連 浅間総合病院について、一部の診療科では収入増となっているが、医業収益としては赤字とのことである。浅間総合病院は赤字のままではいいのか、黒字にしたいのか。	全体として、健全経営意識を高め、黒字が望ましいです。一方で、市立の市民病院、総合病院として、不採算部門も担当している事をご理解を頂く必要があります。
	4 補助金関連 佐久市からの民間病院及び浅間総合病院の補助金に対してのルールは。	民間病院の運営費に対する補助金はありません。施設費への補助は『新しい保健活動における医療施設整備事業』において、民間病院の療養病床整備等に対する補助金を交付することになりました。公的病院である川西赤十字病院については、これまで川西保健衛生施設組合を通じ施設整備への補助金を交付していましたが、昨年度より運営が厳しくなってきたため運営費に対しても補助金を支出しています。自治体病院である浅間総合病院については、病院の建設改良費や運営費に対する補てんを行うため、国の「地方公営企業への繰出し基準」に基づき、市の一般会計から負担金という形で支出されます。
	1 松本・佐久地域高規格道路関連 松本・佐久地域高規格道路建設のための協議会はあるのか。	現在も松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会の活動は続いており、継続的に県・国への要望活動を行っております。しかし、先行する路線である松本糸魚川連絡道路が、平成6年に地域高規格道路の「候補路線」に、さらに、平成10年に「計画路線」に指定され、その後、「調査区間」の指定はあったものの、いまだ「整備区間」の指定に至っていない現状においては、「候補路線」にも指定されていない松本・佐久連絡道路が高規格道路として実現するにはさらに多くの時間がかかるものと考えられます。
高速交通網特別委員会	2 中部横断自動車道関連 中部横断自動車道の進捗状況について、南アルプス市から先の状況は。佐久市議会としてはどのように取り組んでいるのか。	平成29年までに静岡から山梨まで開通します。八千穂から長坂の間はB案141号線をまたがるルートに決まりました。整備路線への格上げを、議会としても県と国へ要望しております。

担当 委員会	項 目	担当委員会の対応方針等
	主な意見・要望の要旨	
地域医療問題 特別委員会	川西赤十字病院関連 川西赤十字病院は、地元の病院で大変重要な存在であるが、内科医が日替わりで来ているという状況である。 佐久総合病院も重要かもしれないが、若い世代のために日赤という地元の病院を、もっと充実させてほしい。	川西赤十字病院への補助は、以前は施設整備のみ川西保健衛生施設組合を通じ支出していたが、H25年度から5年間を目処に年間8千万円の運営費補助を行っています。貴重なご意見として承ります。
	1 議員定数関連 今月から定数削減のアンケートを取るということだが、1番の目的、何を狙っているのか。1人減ると議会として使っている経費がどれくらい少なくなるか。市民としては定数削減というのは、すぐ経費を減額すると、そうとらえられると思う。国では政治と金という問題で、政務活動費が話題になっている。佐久市の予算は。領収書1万円以上の取り扱い。佐久市の実情は。	議員定数の問題は、特別委員会の検討課題として討議しており、その検討の参考とするために今回の市民アンケートを実施しました。議員一人分にあたる歳費は約600万円程です。政務活動費については、認められる項目・基準が決められております。金額に関係なく領収書添付が義務付けられております。領収書等は議会事務局で閲覧できます。
議会改革特別委員会	2 議員報酬関連 議員の報酬はどうやって決められているのか。佐久市の職員の平均給与平成25年度は602万円だが、議員は520万円しかない、これで議員の活動ができるのか。人口で決まって来るのか疑問を感じている。政務活動費も月額1万円しかない。議員として活動できるのか疑問を持っている。	議員報酬・政務活動費は、市長の諮問による「特別職報酬等審議会」で審議され、答申により決定されます。
	1 広報全般について 議会の様子を見るのは議会だけかケーブルTVの議会中継である。議会だよりは一般質問などがあるが、同じような質問・答弁が見受けられる。会派毎で一つに質問をまとめるなどの方法は無いのか。答弁を短い文章にするのは大変かと思うが、抽象的に感じ、文からはなかなか伝わってこない。中継も国会のように白熱した答弁が見受けられない。もう少し活気があり、「私の意見はこうだ」と戦わせるような議会を、今後期待する。	議会だよりは、1時間の質問を、議員の責任で、3分の1頁にまとめています。紙面、字数の制限の中で、内容を伝えられるよう、紙面構成や写真の登用などの努力をしています。今後もあり、工夫検討を重ねていきたいと思っております。一般質問の様子、質問の組み立ては個人の裁量の範疇となりますが、今後インターネット中継も導入予定なので、ありのままを、より広範な市民の皆さんに伝えられると考えております。
広報広聴特別委員会	2 議会だより関連 各議員のミーティングスケジュールを議会だよりに掲載していただき、個別に議員さんの話を聞く機会があってもいいのではないかと。	議会だよりは、佐久市議会としての活動内容を掲載しているため、個人が議会外で行う活動の掲載は現状難しいと考えています。

議会報告・意見交換会運営委員会 平成25年度～26年度委員の紹介

委員長	井出 節夫
副委員長	大井 岳夫
委員	神津 正・小山 仁志・花岡 茂・市川 将 内藤 祐子・竹花 美幸・内藤 勝利 ※小山議員辞職によりH27.1から吉岡 徹

【訂正とお詫び】

議会だより39号(平成27年2月1日発行)の一部に誤りがありました。
P14行政視察報告の経済建設委員会
右枠4行目 誤:京都市亀山市
↓
正:京都府亀岡市
以上のとおり訂正しお詫び申し上げます。